ぎふけん
自動車会議所だより

発行所
一般社団法人
岐阜県自動車会議所
岐阜市日置江2648番地の2
電話（058）279-3701
毎月20日発行

あせらずに
青になっても
再確認

第61回岐阜県自動車交通事故防止大会を開催

岐阜県自動車会議所
岐阜県交通安全協会





９月21日から秋の全国交通安全運動が始まるにあたり、９月18日に岐阜県自動車会館において、岐阜県自動車会議所と岐阜県交通安全協会の共催による「第61回岐阜県自動車交通事故防止大会」を県下の自動車関係団体や交通安全関係機関の代表者、役職員ら約90人の参加のもと開催した。

大会は、交通事故の犠牲となられた方々への黙祷に始まり、主催者である田口隆男岐阜県自動車会議所会長・岐阜県交通安全協会会長から「本年の交通事故発生状況は、８月末現在、前年対比で死者数、発生件数、負傷者数ともに減少しているが、死亡事故は高齢者が犠牲となる事故が多発しているため、交通安全啓発活動の推進と創意工夫が求められている。

交通事故を一件でも減らしていく強い気持ちで、業界一丸となって取り組んでいく所存である」と挨拶。

続いて、来賓として出席された松田直樹岐阜県環境エネルギー生活部次長、神谷昌文中部運輸局長、桂川裕幸岐阜県警察本部交通部長から挨拶を受けた。

最後に、野中一起岐阜県タクシー協会会長から大会決議案が読み上げられ、全会一致で採択された。

また、自動車交通事故防止大会に先立ち、成田山名古屋別院大聖寺小豆畑照観主監による交通安全祈願の祭事が執り行われた。

鵜保育園交通安全啓発活動

岐阜県自動車会議所

岐阜県自動車会議所は、10月６日㈫に秋の全国交通安全運動の一環として、岐阜市中鵜にある鵜保育園（私立）の園児を対象に交通安全啓発活動を行った。

これまでは当所単独で行うのが主であったが、今回の活動は岐阜乗合自動車株式会社（以下「岐阜バス」という。）と協働で場所を園内の遊戯室から屋外に移し、午前10時から11時まで実施した。

活動の内容は、現在も市民の交通手段として活動している岐阜バスの路線バスを開場に一台持ち込み、園児達にバスに興味をもってもらえるような内容で進行した。バスの乗降実践講習の他に「身長程の大きさのタイヤを間近で見る」、「現役運転手からのエンジンルームの説明」、「運転席からの死角の確認」と日頃は体験できないことも行った。当所は、バスの乗降に合わせ、交通ルールの基本の定着のため以前から継続している「信号の確認・横断歩道の渡り方」を行った。信号機は初めてコードレスLED信号機を使用し、実際感を持たせた。その他に、啓発グッズ等の配付による交通安全の周知を行った。





運転手不足が懸念される昨今、まだ遠い未来のことではあるが、この活動からバスに触れる機会を持つことで少しでも運転手に憧れ、運転手の職業につながる土台になればと考える。

岐阜バスとの共催の企画は初めてであったが、園児達も楽しく参加し、良い形で交通安全の啓発活動を終えることができた。今後は目的・趣旨が同じ方向であれば、他社との共催も取り入れて、当所は引き続き交通安全に重きを置き、園児が楽しみながら学べるよう工夫を凝らし、継続していく。

秋の交通安全県民運動
ひるがの高原サービスエリアにて啓発活動



９月28日㈪、岐阜県自動車会議所は、東海北陸自動車道ひるがの高原サービスエリア（下り）にて啓発活動を行った。これは秋の交通安全運動に合わせて中日本高速道路高山保全サービスセンターが主催となり、関係団体と共に実施した。

当日は、サービスエリアの利用者にグッズやチラシを配布して交通安全の呼び掛けを図ったほか、環境保全や道路交通法改正による生活道路における制限規則等の新たな罰則について周知を行った。

イベントブースでは、パトカーや道路巡回車の展示、巡回車のLED表示による交通啓発が行われた。

当日は天候に恵まれず、雨天での活動となったが、長距離トラック運転手やサービスエリアを利用する観光客等に交通安全・環境保全に関する啓発活動の関心をいただいた。

【協力団体】
岐阜県警高速隊高山分駐隊・各務原分駐隊、中日本ハイウェイ・パトロール（株）、中日本サービス（株）、NEXCO高山HSC

岐阜県図柄ナンバー導入を目指す

岐阜県は、９月に行われた定例会企画経済委員会で「地方版図柄入りナンバープレート」を導入する方針を明らかにした。

「図柄ナンバープレート（地方版）」は、国土交通省が「走る広告塔」・「つけて走って広げよう」をキャッチフレーズにご当地ナンバーから地域の魅力を全国に発信し、地域の活性化につながるよう、平成30年10月に40地域で交付を開始し、順次地域を拡大し、現在は78地域で導入されている。昨今も継続し、第５弾（令和９年11月交付）及び第６弾（令和11年５月交付）の募集は令和８年４月24日から開始されているところだ。

岐阜県は「図柄ナンバープレート（地方版）」の導入がなく、これを導入することで観光振興、県民の郷土愛醸成への効果を図ろうと、７月の県議会で検討方針を立てた。導入に際しては、全市町村の過半数の同意と県民の意向を反映したデザインにすることが必要であるが、賛同を得たことで９月15日に国土交通省へ意向表明書を提出した。今後は、観光団体や経済界と連携しながら図柄のテーマなどを尋ねる県民アンケートを実施し、デザインの公募なども進める。令和９年12月までに国へ図柄を提案し、国の審査を経て導入が決まる。交付開始は、令和11年５月頃の予定をしている。

ナンバープレートの構成としては、「岐阜」「飛騨」の地域名や車ごとの番号は変わらず、希望者には共通の図柄を使用する想定である。今後の動きに目が離せない。



学生対象の職業体験を実施
飛騨事務所



飛騨事務所では高山市内の中学・高等学校の職業体験を年間を通じて受け入れており、９月は16日・18日に３件の見学を実施した。

見学は学生を預かった市内の整備工場やガソリンスタンドなど自動車関係事業所から申し出があれば対応し、独立行政法人自動車技術総合機構飛騨事務所のご協力で検査項目や施設説明、当所の交付窓口ではナンバープレート制度を説明し、今年度は既に３校６件を実施した。

若年層のクルマ離れがささやかれるなかで、実際の検査を見ることで自動車の構造を理解することや、希望や図柄ナンバーが選べる楽しみがあることも通じて自動車への関心が高まればと考えており、今後も積極的に対応していく方向である。

人事異動
令和８年10月１日付

中部運輸局
岐阜運輸支局
【採用者】
▽陸運技術専門官　伴田亮



人事異動
令和８年10月１日付

軽自動車検査協会
岐阜事務所
【転入者】
▽業務課長（愛知主管事務所業務課長）中島亨▽主任検査員（自動車技術総合機構関東検査部春日部事務所検査官）倉島駿介
【転出者】
▽愛知主管事務所三河支所業務課長（業務課長）小林孝宏▽静岡事務所沼津支所検査員（検査員）鶴見和樹

受検者　各位

令和8年10月

検査機器点検によるコース閉鎖のご案内

平素は当機構の検査業務へのご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。
検査機器精度維持のため、定期点検を下記日程のとおり行います。

記

日付	閉鎖コース
11/10(火)	2コース
11/20(金)	1～3R：3コース 4R：二輪コース

当日は混雑が予想されます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

独立行政法人　自動車技術総合機構　岐阜事務所

令和8年11月よりコールセンターにおける対応時間を見直します

- 軽自動車の手続き等に関するお問い合わせは、「050」から始まるコールセンターにおいて受け付けているところです。
- また、事務所等職員への電話は、コールセンターを経由して対応しております。
- 今般、事務所等職員の働き方改革の観点から、コールセンターの受付時間を以下のとおり見直し、昼休憩時間帯の事務所等による電話対応及びオペレーターによる対応を終了することとしました。

現行
8:30～17:00
※ 月曜日から金曜日（土・日・祝日及び12月29日から1月3日を除く。）

11月2日以降
8:30～12:00
13:00～17:00
※ 月曜日から金曜日（土・日・祝日及び12月29日から1月3日を除く。）



「自動音声」や「当協会ウェブサイトによる手続案内」は引き続き24時間対応をしております。

軽自動車検査協会
Light Motor Vehicle Inspection Organization

岐阜県の新車販売台数（速報値）

９月の新車登録台数

岐阜県自動車販売店協会

会社名＼月別	９月台数	前月台数	前月対比	前年同月台数	前年同月対比
			%		%
岐阜トヨタ	620	643	96.4	569	109.0
岐阜トヨペット	417	340	122.6	375	111.2
トヨタカローラネッツ岐阜	1,312	1,078	121.7	1,353	97.0
岐阜日産	352	244	144.3	448	78.6
ＵＤトラックス	19	13	146.2	13	146.2
いすゞ自動車中部	133	84	158.3	105	126.7
岐阜日野	198	157	126.1	138	143.5
西日本三菱	69	64	107.8	72	95.8
三菱ふそうトラック・バス	59	62	95.2	62	95.2
土岐三菱	14	11	127.3	19	73.7
東海マツダ	208	147	141.5	153	135.9
岐阜ダイハツ	21	42	50.0	37	56.8
スバル東海	176	73	241.1	172	102.3
岐阜ヤナセ	100	59	169.5	123	81.3
ホンダカーズ岐阜	400	220	181.8	307	130.3
ホンダカーズ東海	99	98	101.0	57	173.7
ホンダカーズ飛騨	0	0	0.0	24	0.0
ホンダ自販岐阜	73	48	152.1	78	93.6
岐阜スズキ販売	384	272	141.2	205	187.3
名鉄アオト	51	33	154.5	53	96.2
中日本モビリティ	59	66	89.4	63	93.7
ホンダカーズ美濃	10	7	142.9	13	76.9
準会員	44	35	125.7	38	115.8
合計	4,818	3,796	126.9	4,477	107.6
岐阜県全体登録台数	5,061	3,910	129.4	4,691	107.9

※ネッツトヨタ株はトヨタカローラ株と2023年1月1日付で合併し、トヨタカローラネッツ岐阜株に社名変更されました。（2022年度の台数につきましては、旧トヨタカローラ岐阜株と旧ネッツトヨタ株を合算して標記しております。）
※昨年4月に株ホンダカーズ東海と合併されました、旧株ホンダ四輪販売丸順の台数(2022年1月～3月分)については、株ホンダカーズ東海に合算して標記しております。

９月の軽自動車新車届出台数

岐阜県軽自動車協会

車種	車名	９月台数	前月台数	前月対比	前年同月台数	前年同月対比
乗用車	スズキ	775	580	133.6	1,029	75.3
	ダイハツ	1,087	376	289.1	915	118.8
	三菱	132	117	112.8	216	61.1
	スバル	13	9	144.4	11	118.2
	ホンダ	509	261	195.0	621	82.0
	マツダ	36	84	42.9	33	109.1
	日産	294	154	190.9	450	65.3
	トヨタ	47	24	195.8	50	94.0
	その他	8	0	0.0	2	400.0
	計	2,901	1,605	180.7	3,327	87.2
貨物車	スズキ	252	182	138.5	193	130.6
	ダイハツ	389	166	234.3	306	127.1
	三菱	40	11	363.6	14	285.7
	スバル	8	5	160.0	16	50.0
	ホンダ	45	21	214.3	68	66.2
	マツダ	2	2	100.0	2	100.0
	日産	21	15	140.0	84	25.0
	トヨタ	54	14	385.7	58	93.1
	その他	0	0	0.0	0	0.0
	計	811	416	195.0	741	109.4
合計		3,712	2,021	183.7	4,068	91.2

９月の全国新車販売（ブランド別）

	メーカー	９月	前年同月	前年同月比
登録車	ダイハツ	1,535	1,763	87.1
	日野	3,936	2,907	135.4
	ホンダ	30,656	31,346	97.8
	いすゞ	7,287	7,903	92.2
	レクサス	7,780	7,747	100.4
	マツダ	11,581	10,559	109.7
	三菱	4,974	5,304	93.8
	三菱ふそう	2,923	2,957	98.9
	日産	24,515	23,243	105.5
	スバル	10,359	11,453	90.4
	スズキ	17,321	15,090	114.8
	トヨタ	120,559	117,673	102.5
	ＵＤトラックス	1,209	1,172	103.2
	その他	27,265	26,274	103.8
	合計	271,900	265,391	102.5
軽自動車	スズキ	51,792	54,463	95.1
	ダイハツ	47,748	47,267	101.0
	三菱	8,482	5,865	144.6
	スバル	1,383	1,714	80.7
	ホンダ	25,505	32,412	78.7
	マツダ	3,487	3,076	113.4
	日産	20,814	15,289	136.1
	トヨタ	2,115	2,717	77.8
	ＢＤＹ	442	－	－
	その他	15	22	68.2
	合計	161,783	162,825	99.4
新車販売総合計		433,683	428,216	101.3



冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！

国土交通省は、大型車の冬用タイヤへの交換時期には車輪の脱輪事故が増加する傾向を踏まえ、関係団体と連携しタイヤ脱着時の確実な作業及び保守管理の徹底を呼びかける「大型車の脱輪事故防止キャンペーン」を令和８年10月から令和９年２月にかけて実施する。

令和４年２月に設置された「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」による調査と分析を行った結果から、令和７年度の事故発生件数は１２８件であり、令和６年度（１２０件）に比べ８件増加し、更なる対策が急務であることが分かった。事故車両の多くにタイヤ脱着作業時のさび取り清掃、各部位への潤滑剤の塗布及びホイール・ナットが円滑に回るかの点検等が不十分であること、さらに、保守管理においても、タイヤ脱着作業後の増し締め及び日常点検時のホイール・ナット緩み確認等が確実に実施されていないなどの問題点が確認されている。

令和７年度の大型車の車輪脱落事故発生状況は「約５割の事故が11月から１月の冬季３ヶ月間」、「５割以上の事故がタイヤ脱着作業後１ヶ月以内」、「９割以上の事故が左後輪によるもの」であった。

こうした状況を踏まえ、事故原因を引き起こしている作業や保守管理の周知と、常日頃からの正しい点検整備、運行前の正しい点検整備が必要とされる。

また、９月・10月の強化月間「自動車点検整備推進運動」の中でも、整備の重要性、確実な点検整備の励行を啓発する。

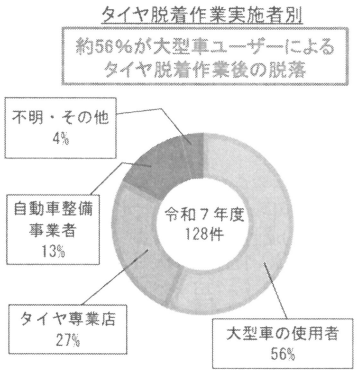
【主な取り組み】

- 運送事業者、タイヤショップ、整備事業者等に対し、チラシ、ポスター、ＳＮＳ、各種研修等により、適切なタイヤ脱着作業や保守管理の徹底を周知。
- 大型トラック運送事業者の経営者層に対し、社内関係者へ車輪脱落事故の危険性を伝え、適切なタイヤ脱着作業及び保守管理の徹底を周知。
- ※1「車輪脱落予兆検知装置」の普及促進

※1 走行中のホイールナットに異常が発生し、車輪脱落の恐れが生じた場合、予兆をすばやく検知し、ドライバーに知らせる。①車輪に取り付けたセンサーがナットの緩みをいち早く検知 ②中継器が運転席の受信機へ電波を送信 ③受信機が光と音で異常を警報

車輪脱落事故を未然に防ぐことは、企業の信頼を守ることにもつながる。その一つの手段として、日常点検の徹底に加え、車輪脱落予兆検知装置を使用すること。導入することに対し国土交通省では、「令和８年先進安全自動車（ＡＳＶ）の導入に対する支援」の一環として、費用の一部を支援する補助金制度を実施している。一定の条件を満たせば、車輪脱落予兆検知装置費用の半減（※最大）が見込まれる。車輪脱落予兆検知装置は、車種・軸構成により適合が異なるため、導入を検討する際は、近くの大型車メーカー４社販売店に問い合わせることが必要である。

《詳細はコチラから》





岐阜市も令和8年10月1日からゴミが有料化！
それに伴い、(一社)岐阜県自動車会議所では
岐阜市指定ごみ袋を取り扱います。

●ご購入について

販売場所:10番窓口
支払方法:現金のみ

●取扱商品

【普通ごみ】

種類	サイズ	枚数	価格(税込)
家庭用	15L	10枚	160円
	30L		330円
	45L		500円
事業用	45L		500円

※ばら売り不可

【粗大ごみ】

種類	枚数	価格(税込)
直接搬入用処理袋	1枚	210円
戸別収集用処理袋		420円
100円処理券		100円
210円処理券		210円
420円処理券		420円